

令和4年度の当初予算合計額は前年度比14%増(14億8,359万円増)となる114億8,327万円を計上しました。「第5次総合計画」および「大刀洗よかまち創生プロジェクト」の各事業やマニフェストで掲げた政策を進めていくために必要な予算です。

本年度は特に「安全・安心のまちづくり」の実現に向け、防災行政無線整備、防災重点ため池浚渫、災害時の避難所機能強化を含む中央公民館の大規模改修といった大型事業に取り組みます。

令和4年度

町の予算

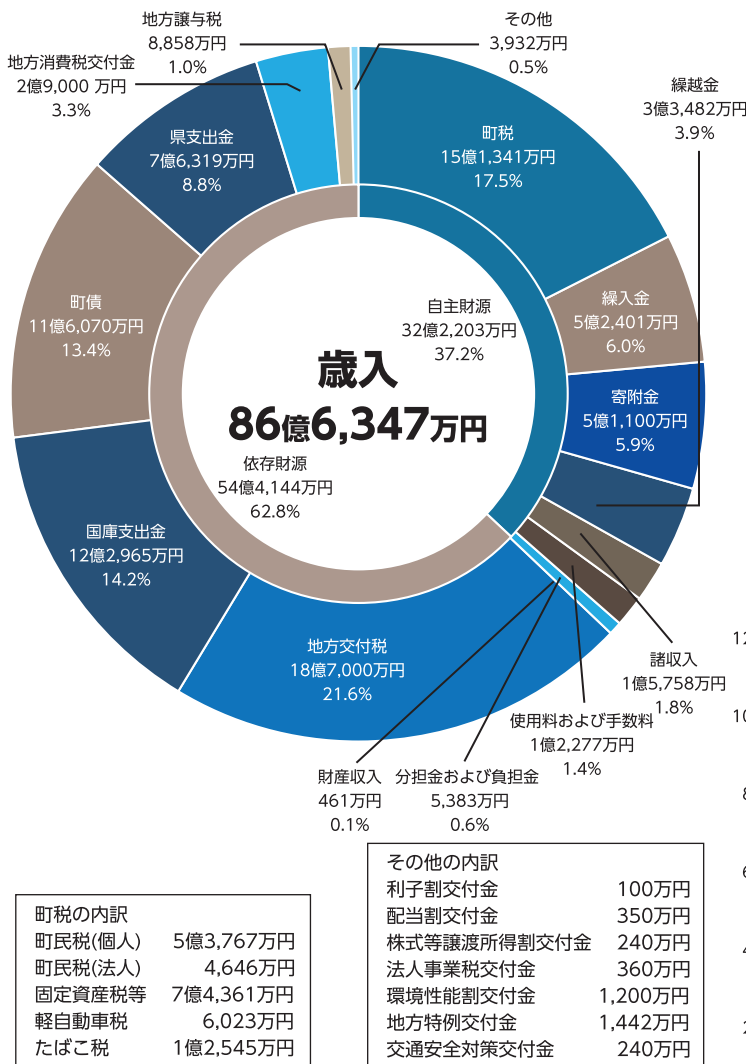


当初予算額合計

114億8,327万円

「安全・安心のまちづくり」の実現に向け
防災対策に重点

一般会計歳入内訳



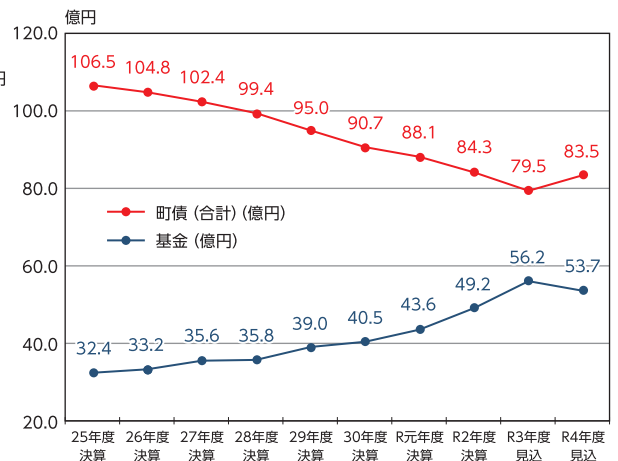
一般・特別会計総額

【会計名】

(前年度比)

会計名	金額	前年度比
一般会計	86億6,347万円	+20.2%
特別会計		
国民健康保険	18億536万円	+1.5%
後期高齢者医療保険	2億2,455万円	+0.6%
土地取得	470万円	+1.6%
下水道	7億8,519万円	+0.1%
合計	114億8,327万円	+14.8%

町債および基金残高 (年度末)



用語解説

- 【一般会計と特別会計】
 - 一般会計 町の基本的・全般的な経費を経理する会計
 - 特別会計 特定の事業を行うために、一般会計と区分して経理する会計
- 【町債と基金】
 - 町債 庁舎や学校などの公共施設、下水道などの整備に充てた借入金で町が発行する地方債。公共施設等は将来にわたり使用できることから、世代間の公平性と財政負担の平準化の観点から必要な財源として活用している。その他に臨時財政対策債がある
 - 臨時財政対策債 地方交付税で保障されるべき財源を国が確保できない場合に国の代わりに町が借り入れる町債。借入金の返済金は後年度の地方交付税額の算定に反映される
 - 基金 特定の目的のために資金を積み立てて、財産の維持や事業費財源として活用するために準備するもの。年度間の財源不足に備えるための「財政調整基金」や町債の償還に備える「減債基金」、公共施設や教育施設の整備、ふるさと振興など特定の目的を持った基金がある
- 【歳入】
 - 町税 町民税、固定資産税、町たばこ税、軽自動車税等
 - 繰入金 基金(積立金)の取り崩しおよび特別会計からの繰入
 - 地方交付税 国の中から町の財政事情に応じて国から交付されるお金
 - 国庫支出金 特定の事業のために国や県から交付されるお金
 - 自主財源 町税や使用料など、町が自ら徴収、収納できる財源
 - 依存財源 地方交付税、国・県支出金や町債など、国または県が関わる財源
- 【性質別歳出】

また、産婦健診助成や、高齢者補聴器購入助成、のりあい定額タクシー事業など、新しい事業を開始します。新型コロナウイルス対策として、ワクチン接種費用をはじめ、中央公民館と同様に災害時の避難所機能を担うドリームセンターのトイレ改修、コロナ禍での外出やウォーキングを進めるため、町立公園の街路灯整備やウォーキングコースの改修を行います。

主要な事業は次ページで紹介しています。予算書は町ホームページでも閲覧できます。

「ラム」予算ができるまで

10月

新年度予算編成における基本方針や方向性を示す「予算編成方針」が町長から職員に対し通知されます。
担当課は、次年度の事業実施に必要な額を計算し、予算編成担当課へ提出します。

翌年1月

各担当課から提出された要求内容についてヒアリングを行い、予算案をまとめていきます。限られた予算の中、さまざまな観点から事業を選択していきます。

2月

町長自ら予算案を確認し、必要な指示・修正を経て予算案が完成します。

3月

予算案は議会で審議され、議決を経ることで正式な予算となります。

一般会計歳出内訳（目的別）

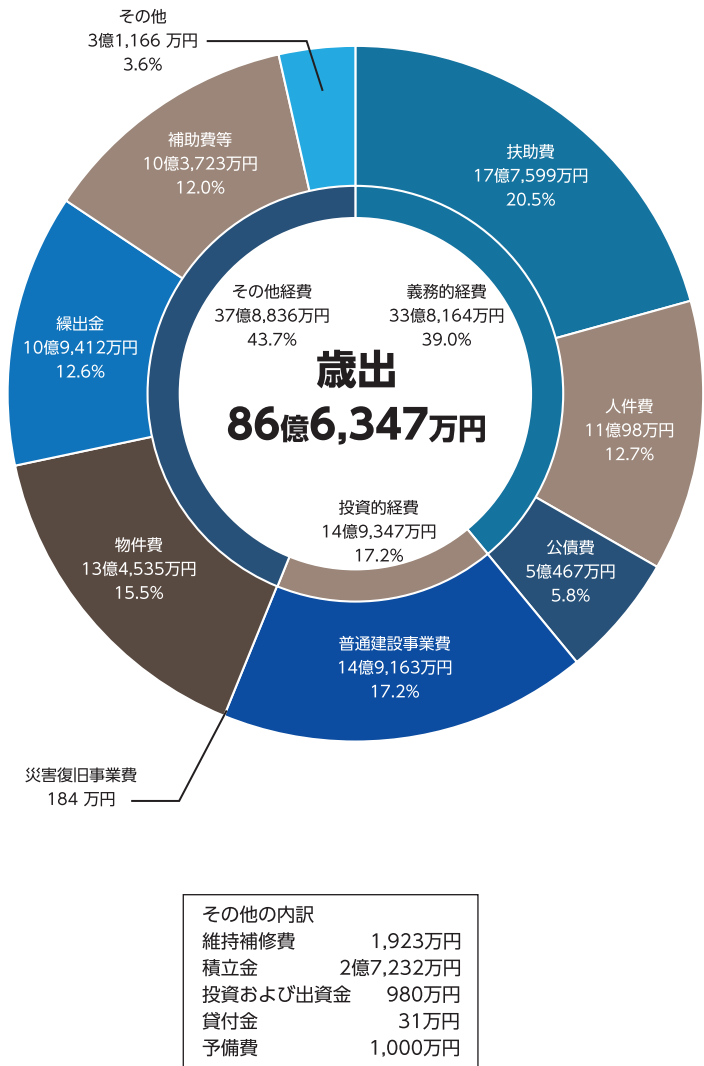
（ ）内は町民1人あたり内訳

※令和4年1月末現在の住民基本台帳人口15,885人

社会・児童福祉、医療など 民生費 29億9,849万円 (18万8,762円)	行政運営、選挙、統計など 総務費 12億6,811万円 (7万9,831円)
教育、スポーツ振興など 教育費 10億5,686万円 (6万6,532円)	農業振興、農地整備など 農林水産業費 8億4,701万円 (5万3,321円)
道路、公園の整備・管理など 土木費 7億9,262万円 (4万9,898円)	保健衛生、ごみ処理など 衛生費 5億9,072万円 (3万7,187円)
町債、借入金の元金利子返済 公債費 5億467万円 (3万1,770円)	消防・防災など 消防費 4億9,529万円 (3万1,180円)
議会運営 議会費 7,534万円 (4,743円)	商工費、災害復旧費など その他 3,436万円 (2,163円)

一般会計予算額86億6,347万円を町民1人あたりに換算すると54万5,387円になります。

一般会計歳出内訳（性質別）



- 【目的別歳出】
- 地方公共団体の経費を行政目的別に分類するもの
 - 民生費 障がい者、高齢者に対する福祉の充実や子育て支援などの経費
 - 総務費 行政運営、選挙、自治振興等行政全般の事務に関わる経費
 - 教育費 学校教育・生涯学習の充実、文化スポーツの振興に係る経費
 - 農林水産業費 農林業振興のための支援や農業生産基盤整備などの経費
 - 土木費 道路や河川、住宅、公園など社会資本の整備・管理に係る経費
 - 衛生費 環境保全、疾病予防、健康増進などの経費
 - 消防費 消防署や消防団の運営に係る経費や防災に関する経費
 - 議会費 議会運営のための経費
 - 商工費 商工業や観光の振興などに関する経費
 - 扶助費 社会保障制度の一環で、生活を維持するために支出する経費。児童手当、障害者自立支援費、各種医療給付費等
 - 人件費 常勤職員給与、非常勤職員報酬、社会保険料等
 - 公債費 事業を行うために借りたお金（町債）の元金・利子等を支払う経費
 - 普通建設事業費 道路、橋りょう、学校等の新增設事業費等
 - 災害復旧事業費 豪雨や台風等自然災害被害の復旧に要する経費
 - 物件費 光熱水費や物品購入、委託料等の消費的な経費
 - 繰出金 特別会計に対して繰出すお金
 - 補助費等 各種団体等への補助金、構成員等の割合に基づき負担する負担金等
 - 義務的経費 人件費、扶助費、公債費など支出が義務付けられる経費
 - 投資的経費 道路整備や学校建設など、社会資本の整備に要する経費
 - その他の経費 物件費や維持補修費などに支出される経費

このような事業に取り組みます



令和4年度に取り組む主な事業を、新規事業を中心に第5次大刀洗町総合計画の基本目標に沿って紹介します。

1 豊かなくらし

(快適、美しい、安心、賑わい)

○のりあい定額タクシー事業

665万円
(県補助54万円、基金等611万円)

町民の移動手段を充実させるため、タクシー事業者と連携し利用者負担を定額とする乗合タクシーを運行します。

○資源回収ステーションモデル事業

513万円
(基金等513万円)

ごみの減量化と住民のリサイクル意識の向上、ごみを起点とした地域住民が交流できる場づくりのため、本郷校区(ふれあいセンター)等に資源回収できる場所と生ごみ資源化装置を設置します。

○大堰公園遊具整備事業

991万円
(基金等991万円)

大堰公園に複合遊具を整備します。

○大刀洗公園ウォーキングコース改修

3,500万円
(国補助3,500万円)

新しい生活様式の定着の中でウォーキングを推進するため、老朽化している園路を改修します。

○ため池浚渫事業

4億8,208万円
(町債4億3,700万円、県補助4,500万円、一般財源8万円)

防災重点ため池に指定された町内のため池浚渫の設計(5か所)および工事(3か所)を行います。

○防災行政無線整備事業

2億4,937万円
(町債2億4,937万円)

災害時等における緊急情報等を住民に即時に伝えるための通信手段として、防災行政無線を整備します。

○消防団車両更新

2,408万円
(町債2,408万円)

購入から20年が経過する第2分団(本郷)のポンプ車を更新します。

○担い手農地集積促進事業

560万円
(基金等560万円)

農地の利用集積を行う認定農業者や認定新規就農者、農地を貸し付けた農地所有者等を対象に補助金を交付し、担い手への農地集積の促進を図ります。

2 輝くひと

(健やか、温かい、学び)

○高齢者補聴器購入助成

25万円
(一般財源25万円)

高齢者の地域社会への参加促進と認知症予防のため、中等度難聴の高齢者に、補聴器購入の一部を助成します。

○新型コロナワクチン接種

4,737万円
(国補助4,737万円)

個別接種と、公共施設での集団接種により新型コロナワクチン接種を実施します。

○産婦健診・新生児聴覚検査

208万円
(国補助80万円、一般財源128万円)

産後つつのスクリーニングを含む産婦健診や新生児期に産婦人科で受ける新生児聴覚検査を補助します。

○新設保育園整備事業補助

1億4,041万円
(国補助9,160万円、基金等4,881万円)

待機児童の解消と保育環境のさらなる拡充を図るため、新設保育園の整備費を補助します。

○ICT支援員配置事業

739万円
(基金等739万円)

教員をサポートするICT支援員を配置し、ICTを活用した授業をスムーズに展開します。

○中央公民館大規模改修事業

3億6,502万円
(町債3億6,502万円)

生涯学習施設・災害避難所としてバリアフリー化等、機能強化を目指して中央公民館改修工事を行います。

○今村天主堂耐震補強および保存修理事業

60万円
(一般財源60万円)

重要文化財今村天主堂の耐震補強工事および保存修理工事を実施するために、所有者である今村天主堂保存会に対して補助します。

3 繋がるまち

(協働、拓く)

○結婚新生活支援事業

900万円
(国補助600万円、一般財源300万円)

婚姻に伴う住居費用や引越し費用といった経済的負担の一部を支援します。